

教科目名 日本語表現法 (Japanese Expression)

学科名・学年 : 全学科 4 年 (教育プログラム 第 1 学年 ◎科目)

単位数など : 必修 1 単位 (後期 1 コマ, 授業時間 23.25 時間)

担当教員 : 山田繁伸

授業の概要			
達成目標と評価方法			大分高専目標(C1), JABEE 目標(f)
(1) 目的や場に応じて適切な題材を選び、自分の考えをまとめて、表現することができる。 (定期試験と課題) (2) 主題や論旨が明確になるように構成を工夫して書くことができる。 (定期試験と課題) (3) 対象を的確に表す語句を文脈に即して効果的に使用することができる。 (定期試験と課題) (4) 事実と意見、説明と描写の区別などに注意し、筋道を立てて表現することができる。 (定期試験と課題)			
回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1	要約文を書く	○要約文・履歴書・自己PR文などを具体的にかつ楽しく書くことができる。	【理解の度合い】
2	履歴書を書く	○主題を効果的に絞り込み、主題を生かす題材の収集と選択ができる。	
3	自己PR文を書く	○3段落構成と4段落構成との違いを理解し、効果的な段落構成ができる。	
4	就職・進学の志望動機を書く		
5	入社・進学後の抱負を書く		
6	礼状を書く		
7	主題の設定、題材の収集と選択		
8	後期中間試験		【試験の点数】 点
9	後期中間試験の解答と解説 文章の構成、段落の工夫	○実用的な文章における重点先行の重要性を認識し、文章をそのように展開できる。	【理解の度合い】
10	表現の工夫 1	○簡潔な文章、風格のある文章、明晰な文章の特色をよく理解し、ある程度そういう文章を書くことができるようになる。	
11	表現の工夫 2		
12	表現の工夫 3		
13	表現の工夫 4		
14	敬語の使い方		
15	後期期末試験 後期期末試験の解答と解説		【試験の点数】 点
履修上の注意		プリントを綴じる A4 版のファイルを各自で準備し、配布されたプリントは必ずファイルに綴じておくこと。	【総合達成度】
教科書	授業中に配布するプリント		
参考図書	木下是雄、「理科系の作文技術」、中央公論新社。		
自学上の注意	新聞の社説や科学・文化欄の記事を読むように心がけること。		
関連科目	現代文、地域日本文学、卒業研究		
総合評価	2 回の定期試験の平均点で総合評価する。総合評価が 60 点以上を合格とする。再試験は、総合評価が 60 点に満たない者に対して実施する。受験資格は、配布プリントを綴じている者に与える。	【総合評価】 点	